

マイ・ステージ

七うかがまち

生きがい再発見



スポーツ吹矢



社交ダンス



囲碁



健康麻雀

草加市生涯学習の日2014

あそびにおいでよフェスティバル

日時 平成26年3月2日(日)

会場 草加市立谷塚文化センター

各会議室やギャラリーなどでは、体験講座や展示を行います。
その他にも、どなたでも気軽に立ち寄れて、一日中楽しめる企画がもりだくさん。
生涯学習フェスティバルで、あなたの楽しみ・いきがいを見つけてみませんか？



今号の内容

P2～3 特集 セカンドステージがここにある

P4 輝け！草加っ子 第6回
大人も子どもも“ユメ”の世界へご招待!!
指導者バンク登録者紹介

ご意見募集

「マイ・ステージ」は生涯学習に携わる市民の編集で紙面づくりをしています。読んだ感想やご意見、紙面で取り上げて欲しいこと、アイデアなどお寄せください。お待ちしております。

集 特 セカンドステージがここにある

長寿世界一の日本。これは結構なことですが、大事なはその中味。特に、60歳過ぎまで仕事一途だった男性の皆さんは、現役を退いた後、先の人生を元気でいきいきと過ごしておいででしょうか。

たくさんある生涯学習の場をご存じない方のために、「元気でいきいき」へ一歩踏み出すきっかけにしたい。このと、各分野で積極的に活動されている男性諸氏に集まっていたきました。

出席くださったみなさん

- ◎ 男の料理教室ハーモニー 井上 隆次さん
- ◎ 歌唱同好会 川手 健嗣さん
- ◎ スポーツ吹矢草加中央支部 山下 悟さん
- ◎ 瀬崎平成塾囲碁クラブ 屋代 博高さん
- ◎ 草加シルバーダンスクラブ 塙 富雄さん
- ◎ 百楽交友会 加藤 武さん
- ◎ フォトクラブ谷塚 新谷 精二さん
- ◎ ラジオ体操連盟 原田 勝夫さん
- ◎ 生涯学習市民推進会議 谷澤委員

1 生涯学習という言葉をどのように受け止めていますか。

屋代さん 学習と言ったら随分大きな言葉になってしまっていますが、「学ぶ」というのが少しでも入っていれば学習じゃないか、「遊ぶ」も「学ぶ」のうちに入ると思っています。

この年になって学んで何するの、というより、「楽しむために学ぶ」と理解しています。

井上さん 人は一人では生きられない。それこそ孤独になっちゃいます。誰かを求めたい、趣味を同じくする人と交わりたい、そういう気持ちがあるんです。

生涯学習というのは交流しない方にきっかけを提供する目的もあると思うのですが、楽しく生きていくには自分の幅を広げること、少しでも前向きに考えていくことが良いんじゃないかと思っています。

原田さん 自分からアクションを起こさないとなかなかできないですね。

加藤さん 「百楽交友会」その名の通り、百まで元気に生涯勉強だというテーマでスタートしました。団



座談会風景

塊の世代の人はなかなか活動に入って来ないのですが、地道に活動が続けて、皆さんに手を貸していきたいと考えています。

山下さん 生涯学習の私のとらえ方は、何でも良いから生きがいとして続けてやっていければ良いんじゃないかなと。生涯学習という漢字四文字は、すごく固いと思います。催しを案内されるときは、何か柔らかな言葉で書いたら良いと思います。

2 現在の活動の楽しみ方や苦勞、やりがい、生きがいについてお聞かせください

新谷さん 学生・サラリーマン・定年後といずれも「学習」の機会はありますが、定年後の今の「学習」は自由にテーマを選ぶことができ、仲間や地域と取り組めるので、一番面白いと思います。

川手さん 生涯学習の一字、「学」を「楽」という字にしちゃったら良いのではないかと思います。そうすると「楽しく習う」になりますよ。同じ学習なら楽しんで習うほうが良いというのが私の考えです。

屋代さん ずぶの素人でも楽しんでもらえるように置き碁をやっています。結構勝ち負けがあつて面白く、上級の人とハンデをつけて対戦し、勝つことがあるのが楽しみです。苦勞は、教えてもらっても一分をたたないうちに忘れること、トーナメントで勝ち進まないと級を上げてくれないことです。また、会場の確保は平成塾以外の場所が予約が大変です。

塙さん 皆さんと楽しく踊れるようになるのを楽しみにしています。これで良いというのがなく、やればやるほど色々難しさが出てくるのが苦勞であり、やりがいでもあります。今言ったとおり、やればやるほど上達もしてきますので、これがまた楽しく踊れて、皆さんと仲良く笑顔で踊れるようにやっています。



男の料理教室ハーモニー

ます。上手に踊れるのが生きがいです。

井上さん 料理教室の難しいのは定着率と献立の行き詰まりで、特定の人が考えるとマンネリになりやすい。そこで、四つの班に分け、当番の班全員が本やパソコンや色々な角度からレシピを持ち寄り、食材の調達、料理の説明までし、運営を取り仕切る。そういうことで、段々と軌道に乗りました。現在の会員は二十一人です。

加藤さん 全体がスムーズにいくかというのを常々考えています。「やりがい」「生きがい」と言うと、これやって皆さんに喜んでもらえたなと感じられたことが一つの喜びであり、達成感みたいなものです。皆さんどこでも悩みは同じで、なかなか会員が増えない。団塊の世代から一向に増えていない。なかなか体が動かなくなりやすい。やみくもに人数を増やすのではなく、運営するのに適正な人数を考えな



歌唱同好会

3

活動を始める前と後で、
どんな変化がありましたか。

屋代さん 私はサラリーマン生活をやめてからが「地域デビュー」ですよ。YOYOクラブに誘われて入ったのですが、そこは地域の人ばかりで、たくさんの方ができました。

がらやっています。

新谷さん 子どもから大人まで、写真は誰でも撮れますが、どう表現するかということにおいて、年齢だとかテクニックとかが必要とされ、年齢を経るほどに面白くなっているのではないですかね。三年前には、グループ活動として一年かけて「今様草加八景」を四シーズンに分け、写真を撮り、公共施設に展示させていただきました。全員の協力があつてはじめて成し遂げられたテーマであり、こういうことを目指してやってきて良かったです。ボランティアの端っこのようなアクションですけど、写真をやっている良かったなと実感しました。

加藤さん

百歳まで元気に生涯勉強だと思ってスタートしています。地域の事は定年後、様々な形で携わってきました。今振り返ってみると、自分のライフワークがだいぶ変わってきているなあと、実際のところそんな心境です。

山下さん

最近ボウリングを始めたんです。新聞の折り込みに教室の案内があつて、講座内容が詳しく載っていて、プロの方の指導でしたので、参加しました。その卒業生でサークルを作り、高年者ばかりで三分の二は女性ですが、気の置けない友達が増えました。

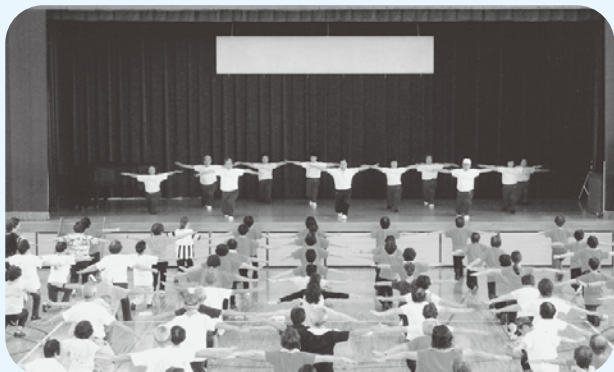
新谷さん

自分の出会った景色や人や花を、どう表現するか、年齢を経るほど面白くなってきました。最近、写真ボランティアを病院やケアセンターのロビーなどで三年前から続けております。先様と一緒に写真の展示をすることで、やつて良かったと、やらせていただく喜びを仲間と感じております。今は個人から、チーム、そして地域に根ざした活動の輪を広げられ、心の「よりどころ」の一つになっています。

4

まだ生涯学習活動をしていない男性に活動を呼びかけるために、
どんな声かけをしたら良いと思いますか。

屋代さん 私の「地域デビュー」は、人から誘われた、いわば一本釣りをされたということですね。男性は引込み思案が多いですから。



ラジオ体操風景

原田さん

本人の意思が少しでもあれば、きっかけが作れるのですが、何もない中から、「おいでおいで」と言ってもなかなか来るものではないのですね。

加藤さん

そうですね。私も地味な活動ですけども地域の掲示板とか百楽会自体の広報という形で、繰り返ししています。この地道な活動で補うしか、手だてがありません。

新谷さん

草加市の場合、五キロメートル四方という狭い範囲に二十か所くらい、公民館やコミセンなどの施設が点在していて、サークルも五百以上ありますよね。それを上手に知らしめる情報ネットとか、講座のお知らせなど、よりわかりやすく伝わるよう工夫し、継続的にアプローチしていただければ、学習へ参加するきっかけになると思います。

川手さん

生涯学習をしていない男性に活動を呼びかけるということ

は難しい問題。広報なんかには

載せて見てもらう。また口コミで、どこか知り合いがいたら、自分の活動団体をお互いに紹介する方法などがありますね。

山下さん

このピンクとブルーの冊子『指導者バンクガイドブック』『ガイドブックマイステージサークル紹介』は、どのような所で一般の方に配布されているのですか。私、今日初めて見たんですけれど。



事務局

市内の公民館・文化センターやコミュニティセンターなどの公共施設で配布しています。

山下さん

そうすると、家にこもっている人には絶対に届かないということですよ。活動している人は公共施設に行ったりするけれど、私は実際に手にして見たことはないです。

新谷さん

公共施設へ行けば閲覧という形で常備されているということですが、個人がそれを持って帰って、内容を検討するというコマではなされていないようです。

山下さん

そこまで行けば良いのだが、家から出ていない人は、公共施設にも行っていないわけですから。

井上さん

それは同感なのですが、日ごろ、新聞に入ってくるチラシな

どはもう見ないうちにバサッと捨てられる運命にあるわけですね。一番大事なのは、本人がどういう生き方をするかですよ。世の中には色々な立場の方がいらっしゃる。活動の声掛けは難しい。やはり自分からまず第一歩をと、アクションを起こす。そして公民館を利用して生涯学習に役立て、自身の見聞や幅を広げるようにすることではないでしょうか。



フォトクラブ谷塚

まとめ

やっぱり自己意識なんですね。その自己意識をどう高めていくかということも、一人ひとりの生き方に通じると思うのですけれど。座談会に出席いただいた皆さんは積極的に活動なさっているの、それぞれのサークルのメンバーの方にも「こういうことがあったんだよ」と報告をしていただいたいのと思うのです。それがきっと「つながり」「広がり」の一步になると思います。
(司会)

草加の頑張る子どもたちを応援！

輝け!草加っ子

このコーナーは、未来の草加を担っていく
草加の子どもたちの活動をお届けします。

第6回 HOPES (ホープス)

～イベントの企画・運営を通じて、地域を盛り上げていこう～

草加市は、「音楽都市宣言」を制定してから今年で20年を迎えました。音楽のまち・草加にとって節目の年でもある今年、音楽イベントを作り上げる10代の若者の団体が産声を上げました。それが、「HOPES」です。

HOPESは、「草加のイベントを盛り上げたい」という一心で今年4月に設立し、その志に共感した4人が活動しています。さっそく8月には、ファーストプロジェクトとしてカーソンプラザで音楽イベントを開催し、高校生からプロのミュージシャンまで6組のアーティストが出演していました。

最近、カーソンプラザでは週末になると盛んに音楽イベントが開催されていますが、その多くは成人した市民による団体が主催しているものです。そこへ若い風を送り込もうとしているのが、10代の若者で構成する

「HOPES」なのです。

代表を務める二塚修太さんは、「もともとカーソンプラザで別の団体による音楽イベントの運営に携わっていたという経験があり、そこで先輩の手伝いもあってHOPESを設立することができました。苦労もありますが、現在もアドバイスを受けながら活動しています」と言います。

今後の活動についてたずねると、「HOPESはまだ発展の途中にあり、若い世代の協力者を求めています」とのことでした。今後は音楽イベントをメインに据えながら、幅広くイベントを手掛けていきたいそうです。お近くにイベントや音楽に興味のある10代の方がいたら、声を掛けてみてはいかがでしょうか？

(文：大学1年／勝間 翼)



■HOPES

《平成25年度ふるさとまちづくり応援
基金助成団体》

・代表者氏名 二塚 修太

・連絡先 nitukanitukanituka@gmail.com

大人も子どもも
“ユメ”の世界へ招待!!

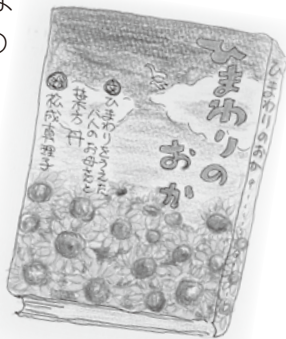
68歳 絵本大好き

定年後、小学校の嘱託員になりました。子どもたちに読書指導をするようになり、どんな絵本を読んであげようか探しているうちに、絵本のとりこになってしまいました。近ごろは癒しとして、大人の方にも十分読んでいただけるものがたくさんあります。「小低～大人」と書かれた絵本もあるくらいです。

私のお勧めの絵本は、中央図書館で小学校中学年の女の子から勧められました。題は「ひまわりのおか」です。「宮城県・石巻市立大川小学校を、大きな津波がおそいました。わが子をなくしたお母さん達は、やがて、小学校のそばにたくさんのひまわりを植えはじめました。日差しをあびて、ぐんぐん成長していくひまわりに重なるもの。それは、何よりもたいせつな、愛する子どもたちの姿―」

絵本を、子どもが見るもの・読むものと思わず、まず手に取ってみてください。きっと小さかった頃を思い出して、絵本のぬくもりを感じることに請け合いです。

(文：生涯学習市民推進会議／板垣)



図書館の児童書コーナーへ行ってみよう

中央図書館4階では、児童書・絵本・紙芝居を利用できます。屋上庭園もあり、子どもやお母さんたちのふれあいの場にもなっています。子育て中のお母さんにお話を伺いました。

Q「図書館には、よくお見えになりますか？」

A「下の子をベビーカーに乗せてよく来ます。」

Q「上のお子さんは、どんな本を読みますか？」

A「女の子のせいか、可愛い絵の絵本を好んで読んでいます。」

Q「本は借りて行きますか？」

A「上の子は、自分で気に入った本を借りて、自分で読んでいます。下の子には、幼児用の本を借りて、お風呂の後なんか読んで聞かせます。もう一回もう一回とせがまれます」

Q「その他に、図書館に来て楽しいことはありますか？」

A「友達が増えました。最初は、お宅でどんな絵本を読んでいますか、という話から、いつの間にか子育ての話に変わっていました。その時は屋上庭園でお話しますね。」

読み聞かせボランティア

Q「読み聞かせの本や紙芝居は、どうやって選びますか？」

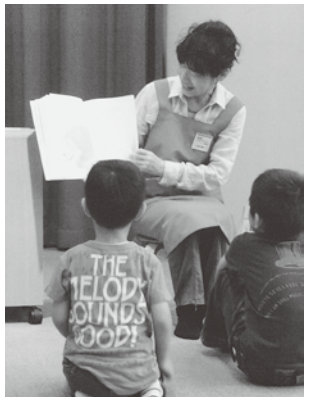
A「そのときの子どもたちの年齢や人数もあり、何冊か準備します。そして子どもたちと相談して決めます。」

Q「聴きに来る子どもたちは、どんな年齢の子ども達ですか？」

A「就学前のお子さんが多いですね。小学生もたくさん来てほしいのですが。」

月一回の勉強会にも参加させていただきました。厳しさの中に笑いあいの楽しい勉強会でした。

中央図書館の4階児童室では、ボランティアの方による読み聞かせを行っています。ボランティアの方にお話を伺いました。



指導者バンク登録者紹介



飯塚 紀一さん(相続アドバイス)

相続が「争続」にならないための事前の対策から事後のフォローまで総合的なアドバイスが可能です。成年後見制度は、市民後見人としての受任経験から解説します。各市町村、高齢者福祉センターからセミナー講師の依頼を受け、経験豊富です。機関誌「Re Start」2カ月に1回発行(35号発行中)。NPO法人相続アドバイザー協議会認定会員「上級アドバイザー」、NPO法人市民後見センターさいたま理事、草加まなびのかけはし会員



中村 美代子さん(箏曲)

生田流のお箏を弾いて、教えて、楽しんで数十年になります。自宅稽古の他に今は、勤労青少年ホームへの慰問演奏や、小学校の音楽授業に出向いています。

忙しい時代ですが、写真にあるように、子ども、大人、男性、外国の方も共通の音楽を通して仲間づくりを楽しんでみませんか?3人以上のグループなら出向きます。自宅でのグループ指導も可能です。楽器のない方、初めての方も、もう一度お箏の方もどうぞ。

編集後記

- ・興味を持って読んでいただけるか、ちょっと心配。(Y.K)
- ・情報部会3年目になりますが、座談会形式のマイステージ特集に携わったのは初めてです。出席者の方から、「また集まりたいね」との一言をいただき励みになりました。(Y.T)
- ・マイステージの存在を知りその発行に携われ、いろいろ教えていただき勉強になりました。(K.O)
- ・いきいきとした生きがいの時間を過ごすには、自由な時間と精神的なゆとり、人との関わりだと感じました。(K.H)